

問題点

腎臓は私たちの体の中で様々な役に立っているのですが、困ったことがあります。

●1つ目は、通常、腎臓の働きを自分で感じることはほとんど無い、ということです。腎臓の働きは我々の意識していない領域で自動的に行われており、今、腎臓がたくさん働いている、とか腎臓に負担がかかっている、というようなことを感じる事ができないのです。よって腎不全や腎臓の病気においては、自分は何も困っていないのに、ある日突然病名を告げられるため困惑される患者さまが多いのです。

●2つ目は、腎臓は再生しない臓器であるということです。よって一度腎臓が傷つき機能が低下してしまうと、元に戻すことは困難です。腎臓の治療はこれ以上悪化させないために、残った機能を温存していくことが目標になります。



腎臓について

腎臓はたくさんの毛細血管が集まってできています。体中の血液は必ず腎臓を通り、老廃物は濾過されて尿となり、体外に排出されるようになっています。体の中で、腎臓の位置は背中側、高さはおへそより少し上くらいの所にあります。左右に1つずつ、計2つ存在します。

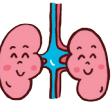


内科 須藤 佳樹

腎臓の働きについて

働きとして代表的なものは、前述した尿を作る機能です。一言で尿と言っても、老廃物を体外に排出するだけではありません。体の水分量に応じて、水分が多いときは尿も多く、少ないときは尿も少なくすることで常に一定の水分量を保つ働きをしています。

他にも、全身の骨に対し新しい血液を作るように命令するホルモンを調整する。全身の骨を保つためのビタミンDを活性化させる。血圧を調整する。など、様々な働きを持っています。



腎臓の管理

自覚症状が現れにくい腎不全は、病院で検査をすることでしか把握できません。主に血液と尿の検査で現在の段階を把握します。検査の間隔は腎不全の段階によってまちまちですが、健康診断で1年毎に検査する方もいれば、毎月通院して検査を行う方もいます。

腎臓の治療

腎不全の治療の主は普段の食事・生活が基盤になります。代表的なものは塩分、カリウム、タンパク質です。

塩分は高血圧の予防・治療で良く聞かれると思います。高血圧は腎臓を悪化させる大きな要因であるため、同じように制限をお勧めします。

次にカリウムです。これは糖尿病が腎不全の最大のリスクであるからです。世界の腎不全の半数以上が糖尿病由来というデータもあります。糖尿病を予防・治療するために普段の食事のカリウムを気をつけることが腎不全の予防・治療にも繋がります。

最後にタンパク質です。タンパク質は体に必要な栄養素であり、通常腎臓で濾過されて尿に排出されることはありません。しかし腎不全においては濾過機能が低下し、尿にタンパク質が漏れ出してしまふことがあります。そしてタンパク質が漏れる量が多ければ多いほど、腎不全が急速に進行悪化することが知られています。これに関しては、食事のタンパク質を適正な量に調整することで腎臓にかかる負担を減らすことができます。

腎不全について

繰り返してしまいましたが、腎臓の働きは自分で感じる事ができません。

～ 訪問診療のご案内 ～



訪問診療とは患者さんの病状や要望に合わせて定期的に
ご自宅に医師が訪問し医療を受けられるものです。

★月1～2回定期の訪問…

基本的には月2回ですが、状態が安定されている方などには月1回の訪問診療を考慮致します。

★24時間365日あんしんサポート…

夜間や休日などいつでも連絡可能。ケアマネジャーや訪問看護など、介護系在宅サービス、行政と連携しながらサポートします。急に状態が悪くなった時の対応(臨時訪問・入院対応)は必要に応じてさせて頂きます。

訪問診療ではこんなことができます

- ★採血や検尿、エコー
- ★注射・点滴などの処置
- ★在宅酸素・人工呼吸器などの管理
- ★傷や床ずれの処置
- ★経管栄養の管理
- ★お薬の処方
- ★がんの疼痛管理や在宅看取り支援



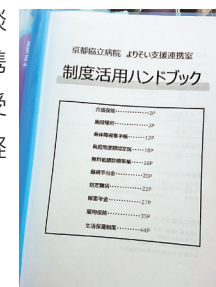
住み慣れた場所で安心して過ごせるようサポートさせて頂きます

費用など、詳しくは契約時に丁寧にご説明させて頂きます。
お問い合わせは TEL：0773-42-0444 (よりそい支援連携室)

よりそい支援連携室から『制度活用ハンドブック』ができました!!

およそ二年にわたり、よりそい支援連携室の相談員が、多忙な業務の傍ら各自で社会制度について調べ作成したハンドブックです!! 患者さんや地域の方々の暮らしに役立つ社会制度を掲載しています。10月には院内の各部署に配布し、アンケートで意見を取りまとめ、改善しています。今後もどんどん改訂して、もっと分かりやすく身近なものにしていきたいと思っています。

患者さんはもちろん、地域の方々のお困りごとなど、ご相談をよりそい支援連携室では積極的にお受けしています。お気軽にお越しください!!



透析になったら人生おしまい?

よく耳にする言葉として「透析になったらおしまいだ」というものがあります。透析に通っている知り合いが辛いと言っていた、毎週3日も透析に通うなんてできない、そういったお話を我々もよく耳にします。



透析治療の歴史はまだ70年ほどしかありません。当初は透析が始まると数年以内に死亡する方が多かったのです。近年になり治療成績は改善しつつあります。また、普段から腎臓を大切に生活・食事を守り、適切なタイミングで透析を開始された方の予後は、透析患者さまの平均予後よりも良くなるというデータもあります。

透析は辛い部分だけではなく、食事制限が緩和され、ある程度好きなものを食べることができるようになったり、内服薬を調整し数を減らすことができましたり、良い面もあります。また何よりも元気に家で過ごせる時間を作ることができることが一番のメリットであると思います。末期腎不全の症状を抱えて苦しみながら通院を続けることに比べて、体調も生活も大きく改善します。

透析は怖い・おしまいだというイメージを少しでも改善できるよう、当院でも透析に関するお話やDVD貸し出しができるように準備をしています。また近隣では綾部市立病院透析室にて透析に関するお話を聞くことができますので、お気軽にご相談ください。